

機械器具 54 医療用捲綿子
一般医療機器 医科用捲綿子 10172000

シグマドライスワブ

再使用禁止

【禁忌・禁止】
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

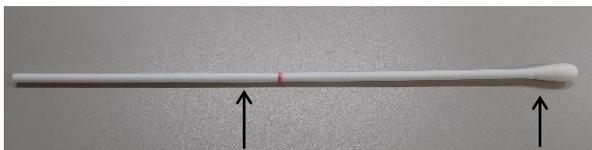
本品は検体採取から培養までが短時間の場合に用いる滅菌綿棒である。

本品は検査材料の採取ならびに輸送を目的とし、綿棒と輸送用チューブが滅菌パックに入っている。綿棒(スワブ)には品質が均等でpHの影響を受けない化学繊維が使用されている。綿棒の軸には折り目がついており、軸部分が折れるようになっている。チューブ側面のラベルには採取した検体についての情報が記入出来るようになっているほか、使用期限、製造番号が記載されている。病院内で病棟または外来診療棟から検査室への検体輸送時に使用する。

シグマドライスワブ
チューブ



綿棒(スワブ)



プラスチック軸

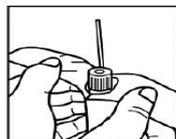
綿球

(材質:レーヨン)

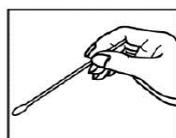
【使用目的又は効果】

本品は、検査のための試料を採取することを目的とした器具である。

【使用方法等】



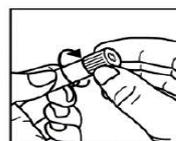
1) パック本体よりチューブを取りだす。平面に置き、キャップを緩めておく。



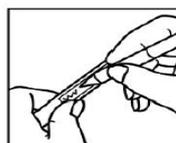
2) 綿棒で検体を採取する。チューブのキャップを開け、綿棒を挿入する。



3) 綿棒の軸をチューブの内壁で押し曲げ、軸の色線の折り目で折る。
※軸を折る際の操作についてく使用方法等に関連する使用上の注意>を参照すること。



4) チューブのキャップを、しっかりと閉める。



5) ラベルに必要事項を記入し、ただちに検査室へ送付する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- 軸を折る時に綿球をチューブの底面に付けると、軸のしなりの反動で折れた綿棒がチューブから飛び出してしまうことがある。綿球がチューブの底面につかないよう、軸の色線の折り目をチューブの縁に合わせて折ること。

【使用上の注意】

- 綿棒の軸はプラスチック製で直角に押し曲げると折れるので、検査材料の採取中に軸の切断が予想されるような部位への使用はしないこと。
- 検体を採取する前に軸を折り曲げたり、湾曲させて使用しないこと。
- 検査材料の取扱には十分に注意すること。使用後のチューブ、綿棒はオートクレーブなどで滅菌処理してから廃棄すること。
- 使用前に汚染のないことを確かめてから使用すること。
- 検体採取時及びチューブ内へのスワブ挿入時に、キャップが

汚染されないよう注意すること。

- ・ 検体採取後すみやかに検査すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法 : 5~25℃で保存(凍結しないこと)

使用期限 : 使用期限はラベルに記載

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

イワキ株式会社

<https://www.iwaki-kk.co.jp>

<問い合わせ先>

イワキ株式会社

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里四丁目12番1号

TEL 03-6733-0227 FAX 03-6733-0228

E-mail bio@iwaki-kk.co.jp

<製造業者>

Medical Wire & Equipment Company (Bath) Limited

メディカル ワイヤー アンド エクイップメント カンパニー

バス リミテッド (イギリス)